

令和8年度実施（令和7年度補正予算）  
半島防災等促進モデル事業

（対象：民間事業者、NPO等）

エントリーシート

【記載にあたっての注意事項】

- ・字数制限は設けていませんが、作成イメージを参照の上、枠内に収まるように記載してください。
- ・本エントリーシート内に別途記載がある場合を除き、別添資料の追加は認められません。

## ① 基本情報

提案のタイトル	XXX			
団体情報	団体名称（フリガナ）	XXX		
	所在地	XXX		
	代表者役職・氏名	XXX		
担当者情報	担当者氏名（フリガナ）	XXX		
	所属部署・役職	XXX		
	住所	XXX		
	連絡先	電話番号	XXX-XXXX-XXXX	メールアドレス
事務担当者情報	担当者氏名（フリガナ）	XXX		
	所属部署・役職	XXX		
	住所	XXX		
	連絡先	電話番号	XXX-XXXX-XXXX	メールアドレス

## ② 半島地域における防災上の課題、および解決策

### (1) 半島地域における防災上の課題

半島特有の〇〇という地理的制約（例：幹線道路が限られ土砂崩れ等で孤立化しやすい等）および〇〇という社会的背景（例：高齢化率が高く自力避難困難者が多い等）により、発災時に〇〇という課題が顕著に発生する。

*（備考）半島地域における防災上の課題について詳細にご記載ください。図表等を用いていただいても問題ございません。*

### (2) 課題（1）の解決策（技術・手法等）

上記の課題に対し、自社が有する〇〇技術を用いた〇〇システムを導入する。これにより〇〇を可能とし、〇〇課題を論理的かつ効果的に解決する。既存の〇〇対策と比較して、〇〇の点で差別化されており、半島特有の条件下においても高い効果を発揮する。

〇〇技術を用いた〇〇システムについて下記の通り補足する。

- ・運用主体/ユーザー：〇〇自治体の〇〇課 / 対象地域の住民〇〇名
- ・運用負荷・操作性：高度なIT知識がなくても、〇〇の操作のみで利用可能な設計。
- ・ランニングコスト：年間約〇〇円/地域（〇〇サーバー保守費用等として）。自治体予算内で持続可能な低コストを実現。
- ・使用にかかる制約条件：〇〇の通信環境が必要。ただし、通信途絶時でも〇〇により〇〇時間はオフライン稼働が可能。既に〇〇での導入実績があり、技術成熟度は高く災害現場ですぐに「使える」状態にある。

*（備考）技術・手法等について詳細にご記載ください。図表等を用いていただいても問題ございません。*

### ③ 実証の概要

#### (1) 実証方法

##### ・実証の全体像

本実証では、半島地域をフィールドとして、〇〇技術を用いた〇〇システムを実装し、発災時における〇〇課題（孤立集落の早期把握・自力避難困難者の安否確認等）の解決可能性を、技術面・運用面の両面から検証する。

##### ・実証ステップ

- ① 事前準備：対象地区の現地調査、住民説明会の開催、〇〇システムの設計・設置、運用マニュアルの整備を行う。
- ② 平常時運用：自治体職員・住民向けの操作研修を実施し、平常時の通信状況・利用ログ等を取得してシステムの安定性と操作性を確認する。
- ③ 模擬訓練：道路寸断・通信途絶を想定した模擬訓練を実施し、安否確認から救助要請までの一連のフローとオフライン稼働性を検証する。
- ④ 効果検証：実証前後の〇〇データを定量比較するとともに、住民・自治体職員へのアンケート・ヒアリングおよび第三者評価により有用性を総合評価する。
- ⑤ とりまとめ：成果と課題を整理し、横展開に向けた知見および「半島防災ガイドライン」へのインプットを最終報告書としてとりまとめる。

*(備考) 実証方法について詳細にご記載ください。図表等を用いていただいても問題ございません。*

#### (2) 実証における目標

・評価指標（KPI）：〇〇にかかる時間が実証前と比較して〇〇%削減されること。

・検証方法：実証前後の〇〇データ（ログ等）の比較分析、および運用主体・住民に対するアンケート・ヒアリング調査を実施し、有用性を定量・定性の両面から検証する。

##### ・技術実装のスケジュール（ロードマップ）

令和9年度：実証地域全域への本格導入・運用開始

令和10年度：近隣の〇〇半島地域への水平展開

研究開発段階ではなく、実証終了後直ちに具体的な社会実装に移行できる状態を目指す。

*(備考) 実証期間中および実証期間後の目標や検証方法、今後のロードマップ等について詳細にご記載ください。図表等を用いていただいても問題ございません。*

#### ④ 実証後に他の半島地域への提供が見込まれる知見

特定の地域に限定されない汎用的なモデルとして、類似の〇〇課題を持つ他の半島地域にも適用可能である。本実証を通じて取得予定な〇〇に関するデータや、〇〇における初期対応のエビデンスは、国が作成する「半島防災ガイドライン」の策定に資する質の高い知見として提供可能である。

なお、横展開に当たり下記の通り障壁が想定されるが、対応可能だと認識している。

- ・横展開時の障壁：導入にあたり、〇〇というインフラ条件の整備や、初期導入コストの確保が障壁となる可能性がある。
- ・対応策：〇〇機能をパッケージ化・標準化することでコストダウンを図る。

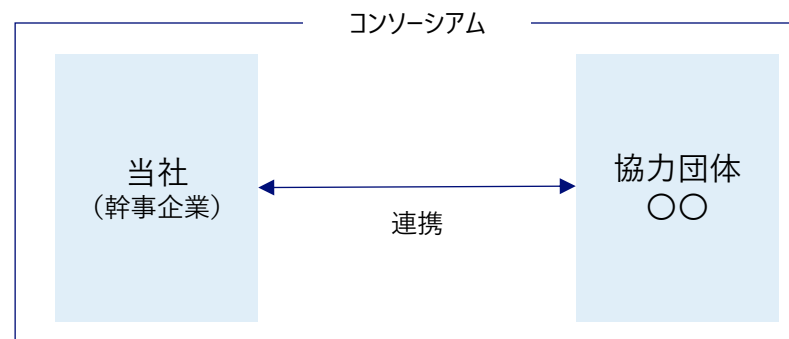
*(備考) 汎用性の高さと事例集・ガイドライン策定への貢献につきましてご記載ください。図表等を用いていただいても問題ございません*

## ⑤ 実証体制

### (1) 体制図

当社の〇〇リソースと技術力をもって、自律的かつ確実に実証を完遂できる体制を構築する。また、〇〇に強みを持つ協力団体〇〇が現地での実証フィールド調整・住民サポートを担う。

*(備考) 体制図については図表等を用いてわかりやすく記載してください。*



#### 役割

- プロジェクト統括
- 技術開発・保守
- 〇〇の提供
- データ分析

#### 役割

- 現地での実証  
フィールド調整
- 住民サポート

### (2) 情報保全の履行体制

・情報セキュリティ体制：〇〇認証を取得済み。

※別添参照

・関連規定等：自社の〇〇情報管理規定に基づき、実証で得られたパーソナルデータは〇〇の工夫を講じて厳格に管理する。

※別添参照

(3) 主要メンバーの経歴・類似実績

【〇〇（当社）】

- ・PM 〇〇：〇〇システム開発の責任者として〇〇年の経験。過去に〇〇県での〇〇実証事業を成功裏に完遂した実績あり。
- ・技術担当 〇〇：〇〇技術の専門家であり、〇〇の特許（保有リソース）を活用した開発を担当。

【協力団体〇〇】

- ・実証フィールド調整担当〇〇：〇〇の経験を有する。

## ⑥ 実証スケジュール

時期	活動内容
2026年11月	<b>【準備・現地調査】</b> 現地フィールド調査、〇〇システムの設置および要件最終確認。
2026年12月～2027年1月	<b>【実地運用・データ収集】</b> 〇〇システムの運用開始、データ収集。
2027年2月	<b>【効果検証・報告書作成】</b> 収集データの分析、KPI達成状況の評価、アンケート集計、報告書策定。

*(備考) 2026年11月頃～2027年2月頃の実証計画をご記載ください。なお、左記期間すべてを実証に使う必要はありません。*

⑦ その他

実証地域	自治体との事前調整の有無	あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
	<b>想定実証地域</b> ※特に希望がない場合は「希望なし」と記載すること	○○県○○半島地域（共同提案：○○市） ※○○という地理的特性を持つため、本技術の有用性を実証するフィールドとして最適である。

必要となる経費の内訳を具体的な支出内容が分かるように記載ください。  
 なお、経費は契約締結に先立って事務局で精査を行いますので、記載額全額とならない可能性がある点、ご承知おきください。なお、本事業に直接関わらない支出\*は経費として計上することができません。  
 支出項目は、旅費、会議費、謝金、備品費、借料及び損料、消耗品費、印刷製本費、補助員人件費、その他諸経費、委託・外注費のうちから選択ください。

経費内訳	経費項目	支出目的	想定支出額（税込）	支出額の根拠
		旅費	現地フィールドでの設置作業・ヒアリング	○○○,○○○円
	借料及び損料	システム利用のため支出。クラウドサーバー等のインフラ環境構築・利用	○○○,○○○円	月額○○円 × ○○ヶ月分 (自社提供サービスに基づく原価相当額)

\*「本事業に直接関わらない支出」の例としては、「事業内容に照らして、当然備えているべき備品等（机、椅子、書棚などの什器類、汎用性の高いパーソナルコンピューター等）」、「本事業終了後のリース・レンタル及び使用に係る経費」、「本事業終了後も使用される資産を形成する経費（システム開発、Webページの構築等）」、「一般管理費/諸経費・雑費など経費執行の内容が不明瞭なもの」等を指します。公募要領をご参照の上記載ください。

⑦ その他

※本頁は、単独の団体による申請の場合には削除いただくようお願いいたします。

経費内訳	(コンソーシアム提案の場合) 共同申請者名		協力団体〇〇	
	支出項目	支出目的	想定支出額 (税込)	支出額の根拠
	旅費	現地フィールドでの設置作業・ヒアリング	〇〇〇,〇〇〇円	〇〇名 × 〇〇回分の往復交通費・宿泊費 (自社旅費規程に準拠)

経費内訳	(コンソーシアム提案の場合) 共同申請者名			
	支出項目	支出目的	想定支出額 (税込)	支出額の根拠

⑦ その他

その他	令和 8 年度の活動に対する 他団体からの助成	あり / なし / わからない
	(「あり」の場合) 本事業による支援の必要性	本事業では〇〇の検証に特化するため、既存の〇〇に関する他財源とは明確に切り分けており、半島特有の課題解決に向けた本支援が不可欠である。